第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート【区分①：自立支援、介護予防、重度化防止】

市町村名	阿蘇市	所属名	ほけん課
担当者名		連絡先(TEL)	0967-22-3145

設定した目標に対する達成率に応じて、選択してください。
 【数値目標のあるもの】100%以上:◎ 70%以上100%未満:○ 50%以上70%未満:△ 50%未満:×
 【数値目標がないもの】達成できた:◎ 概ね達成できた:○ 達成はやや不十分:△ 達成できなかった:×

市町村名	項目名	取組テーマ (リストから選択)	第9期目標				R6年度(2024年度)実績					
			目標設定時点における現状と課題	具体的な取組	目標	計画記載ページ	実施内容	目標達成状況・自己評価	達成度合	課題 (目標の達成状況に関する理由や原因等)	課題に対する改善策 (R6年度(2024年度)以降)	県の支援に対する評価・要望
阿蘇市	高齢者の健康寿命を延伸する	1 高齢者が元気で活躍する社会の実現と自立支援の促進(地域・社会活動、就労、いきがい、健康づくり、介護予防、地域リハビリテーション、地域包括支援センター、地域生活、見守り)	特定健康診査・後期高齢者健康診査の受診率の向上を図り、保健指導を丁寧を実施することで、生活習慣病の重症化を予防し、要介護状態となる疾患の発症を防ぎます。また、特定健診・特定保健指導やがん検診などを通して、市民の健康づくりを推進するとともに、老人クラブ活動やボランティア活動、介護予防サポーターや就労など高齢者の活躍の場の創出と元気高齢者のマッチングを充実させ、元気な高齢者をはじめ幅広い世代が担い手となる健康長寿・生涯加活躍のまちづくりを推進します。	①高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 ②健康づくりの推進 ③住民主体の通いの場の充実 ④自立支援に向けた介護予防・日常生活支援総合事業の充実 ⑤高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進	高齢者の健康寿命を延伸する	P50~51 P65~78	老人クラブの活動の活性化 就労による生きがいづくりへの支援 生涯学習・生涯スポーツの推進 特定健康診査・後期高齢者健康診査の受診率向上 がん検診の受診率向上 介護予防サポーターの発掘・養成 住民主体の通いの場の充実 循環型介護予防・生活支援エコシステムの構築推進 介護予防・生活支援サービス事業の推進 一般介護予防事業の推進 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 高齢者の生活習慣病の重症化予防 高齢者の心身機能の低下防止	・介護予防サポーター養成講座受講者数 R6目標60人→実績210人(達成率350%) ・週1回以上の通いの場の数 R6目標50箇所→実績82箇所(達成率128%) ・訪問型サービスA利用者数 R6目標50人→実績18人(達成率36%) ・訪問型サービスB利用者数 R6目標5人→実績0人(達成率0%) ・通所型サービスA利用者数 R6目標40人→実績28人(達成率70%) ・通所型サービスC利用者数 R6目標100人→実績24人(達成率24%) ・いきき教室参加者数 R6目標600人→実績704人(達成率117%)	○	介護予防サポーター養成講座の受講者数は増加しているが、受講後の活動について課題となっている。 通いの場の活動はコロナ禍以前に戻りつつあるが、参加者が固定されている箇所もあり、新たな参加者の確保が課題となっている。	介護予防サポーターが地域の通いの場の運営・活動につながるよう育成を行う。 通いの場については、新規利用者の発掘を行うほか、相談時に参加案内を行うなどの啓発活動を継続して行う。	
阿蘇市	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる	2 認知症施策の推進、高齢者権利擁護・虐待防止の推進	認知症施策の基本理念にのっとり、認知症に対する正しい理解をはじめ、施策の推進を図ります。特に認知症相談窓口に関する市民への認知度向上に向けた取組を実施するとともに、早期発見・早期対応の体制を拡充します。また、認知症の高齢者が住み慣れた地域で生活するため、介護施設や医療施設、介護サービス事業者などと連携し、本人や家族を支援する認知症地域支援推進員の活動活性化を図り、関係機関と連携して社会的なつながりを増やしながら、認知症の人とその家族が安心して通える「通いの場」の拡充に取組みます。	①認知症の予防と共生 ②在宅医療・介護連携の推進 ③地域包括支援センターの機能強化と地域マネジメントの推進 ④高齢者の権利擁護・虐待防止の推進 ⑤地域共生社会の実現に向けた取組の推進 ⑥在宅生活を支える介護保険以外のサービスの提供 ⑦生活支援体制整備事業の推進 ⑧高齢者向け住まいの確保の推進 ⑨防災対策・感染症対策の推進	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる	P52~53 P79~101	認知症への正しい理解と相談窓口の周知、本人発信支援の推進 認知症の予防の推進 認知症医療・ケア・介護サービス・家族介護者への支援の推進 在宅医療・介護連携推進事業の推進 多職種連携体制づくりの推進 在宅医療・在宅介護の普及啓発 くまもとメディカルネットワークの活用促進 医療・介護の連携を通じた効果的・効率的なサービス提供の推進 地域包括支援センターの機能強化 包括的支援事業・指定介護予防支援事業の推進 地域包括支援センターの業務負担の軽減 地域ケア会議を中核とした地域支援事業運動性向上 成年後見人制度の利用促進 高齢者の虐待防止の推進 包括的支援体制の構築 おでかけサービス事業 家族介護医療事業 心配ごと総合相談事業 高齢者等買物支援事業 居宅介護支援	・認知症サポーター養成講座受講者数 R6目標300人→実績347人(達成率115%) ・ステップアップ講座受講者数 R6目標10人→実績0人 ・認知症サポーター上級者養成者数 R6目標10人→実績0人 ・認知症初期集中支援チーム数 R6目標1→実績1(達成率100%) ・認知症地域支援推進員数 R6目標3→実績0(達成率0%) ・認知症カフェ設置数 R6目標5→実績4(達成率80%) ・地域ケア会議実施ケース数 R6目標6→実績8(達成率133%)	○	認知症サポーター養成講座の受講者数は前年度よりも増えているが、実動人数の確保が難しい状況である。 また、市内5か所の事業所を伴走型支援拠点として相談・支援を行っている。今後とも、官民連携した取組を継続していく。	認知症への関心はあるものの、相談や受診へつながっていない場合が多く、認知症の方や家族を支援できる体制づくりと相談窓口等の周知を継続して行う。 また、市内5か所の事業所を伴走型支援拠点として相談・支援を行っている。今後とも、官民連携した取組を継続していく。	
阿蘇市	多様な介護人材の確保・定着や介護サービスの質の確保・向上を図る	5 介護人材の確保と介護サービスの質の向上	介護予防サポーターや生活支援サポーターによる事業対象者・要支援認定者に対する通所や訪問サービスの充実や介護助手の養成・活用など、多様な介護人材の確保・定着に向けた取組を推進します。介護給付の適正化に向けて、ケアプラン点検や医療情報突合、縦覧点検、リハビリテーション専門職の視点を取り入れた福祉用具・住宅改修の適正化に係る目標値設定及びその目標達成の評価を行うことで、介護サービスの質の確保・向上を目指します。	①多様な介護人材の確保・定着に向けた取組の推進 ②介護サービスの質の確保・向上に向けた取組の推進	多様な介護人材の確保・定着や介護サービスの質の確保・向上を図る	P54、 P102~105	介護離職ゼロの推進 介護のしごとの普及啓発 元気高齢者が活躍できる場の創出 介護サービスの相対対応、苦情処理体制の充実 介護サービスの情報提供の充実 介護現場における安全性の確保とリスクマネジメントの推進 介護現場における生産性向上(業務改善)と文書負担軽減の促進 要介護認定の適正化 ケアプラン点検等の充実	・認定調査の点検 R6目標100%→実績100%(達成率100%) ・ケアプラン点検率 R6目標13%以上→実績5%(達成率38.5%) ・リハ職による住宅改修の施行前点検率 R6目標10%→実績13.7%(達成率137%) ・リハ職による福祉用具貸与後の点検率 R6目標10%→実績13.8%(達成率138%)	○	介護現場における人材不足・高齢化が課題となっている。 ケアプラン点検は63件を行い、ケアマネジャー10名と面談を行い、資質向上に向けた支援を行っている。 認定調査員の研修への参加を実施し、必要な知識・技術を習得し認定審査の平準化に役立っている。	介護人材の確保等に関する現状と課題を把握し、更なる対応策を検討する必要がある。 業務の効率化を図るため、介護職員等の負担軽減等の情報提供等の支援を行って行く。 ケアプラン点検・縦覧点検については、点検業務を委託すすことで、点検者の人手不足や技量不足を補い、適正化を図る。	

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート【区分②：介護給付費等費用の適正化】

市町村名	阿蘇市	所属名	ほけん課
担当者名		連絡先（TEL）	0967-22-3145

設定した目標に対する達成率に応じて選択してください。
 100%以上：◎ 70%以上100%未満：○ 50%以上70%未満：△ 50%未満：×

市町村名	取組テーマ	取組目標	第9期計画における数値目標	R6年度(2024年度)実績							
				点検件数等(分子)	点検対象件数等(分母)	達成率(%)	達成度合	実施内容	課題(目標の達成状況に関する理由や原因等)	課題に対する改善策(R6年度(2024年度)以降)	県の支援に対する評価・要望
阿蘇市	1. 要介護認定の適正化	委託による認定調査の点検	実施率 100%	7	7	100.0%	◎	基本調査と特記事項の整合性や状態を的確に表現されているかなどの内容確認を実施した。	日常的に認定調査員間の意見交換あてきっており、適切な認定調査が行えている。	県が実施する認定調査員研修などへ積極的に参加し、適切な認定調査を実施するために必要な知識・技術の習得を継続して行う。	
阿蘇市	2. ケアプランの点検	帳票を活用したケアプランの実施	点検率13%以上	63	1,256	5.0%	×	市内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員が作成したケアプランを自立支援に向けた適切なケアマネジメントとなっているか検証している。	第三者の目でケアプランを確認することで、介護支援専門員個人の視点を補い支援するため、事業者に委託している。	今後も、介護保険事業の円滑な運営のため、点検業務を委託することで点検者の人手や技量不足を補う。	
阿蘇市	3. 住宅改修の点検	リハビリテーション専門職(建築専門職、福祉住環境コーディネーター検定試験二級以上を含む)による住宅改修の施工前点検の体制構築	点検率10%以上	28	204	13.7%	×	退院後の住宅改修の際には、退院前カンファレンスを活用し、リハ専門職による点検を行っている。	リハ専門職との関わりがない利用者については、リハ専門職による点検ができていない。市内の専門職が少なく、多くの業務を抱えていることから、専門職員の負担増が懸念される。	今後も利用者の実態にそって適切な住宅改修が行われるよう施行前点検を行う。	
阿蘇市	4. 福祉用具購入・貸与調査	リハビリテーション専門職(建築専門職、福祉住環境コーディネーター検定試験二級以上を含む)による福祉用具貸与後の点検の体制構築	点検率10%以上	22	160	13.8%	×	軽度者【要支援1・2、要介護1】の福祉用具貸与については、市職員による書面での点検のほか、軽度者のサービス利用先に勤務しているリハ専門職による点検を行っている。	市内のリハ専門職が少なく、多くの業務を抱えていることから、専門職員の負担増が懸念される。	利用者の辞退に応じた適切な福祉用具貸与となっているか、今後とも点検を実施していく。	
阿蘇市	5. 医療情報突合・縦覧点検	医療情報突合の実施	全件点検	12ヵ月	-	-	△	入院期間を医療機関に確認し、サービス事業所の規定に照らし合わせたうえで過誤の発見につなげている。	全件点検をするためのマンパワーが不足している。	更に専門的な視点から点検ができるよう、業務委託を実施する。	
阿蘇市	5. 医療情報突合・縦覧点検	縦覧点検の実施	全件点検	12ヵ月	-	-	△	国保連と連携し、各サービス事業所の疑義について、解決を図っている。	国保連との連携はできており、疑義の解決にはつながっているが、全件点検をするためのマンパワーが不足している。	更に専門的な視点から疑義について解決できるよう業務委託を実施する。	